

UNIT 1～4の4ステップで実施できる防犯教育【長岡市立希望が丘小学校】

ねらい 犯罪は不審者などの「人」だけでなく、犯行に都合の良い「場所」や「状況」に着目することが大切なことに気付き、「入りやすく」と「見えにくい」という視点から、地域の危険な場所の特徴を見付け、犯罪被害に遭わないための危険予測能力と危険回避能力を身に付けることができる。

UNIT 1
知る（2時間）

タイトル 「入りやすく」「見えにくい」ってどんな場所？

ねらい（学習目標）

主な活動：町探検「希望が丘はどんな町？」
防犯アニメ「あぶないところってどんなところ？」視聴

◎防犯アニメを通して、防犯上のキーワード「入りやすく」「見えにくい」について理解し、身近な希望が丘地域に危険な場所があるのか調べたいと意欲を高めることができる。

（社4）



UNIT 2
調べる（7時間）

タイトル 地域の「入りやすく」「見えにくい」場所を探しに行こう！

ねらい（学習目標）

主な活動：身近な場所の調査（グラウンド・なかよし公園）
地域セーフティーパトロールの皆様と調査活動

◎希望が丘地区の「入りやすく」「見えにくい」ところを調べる活動を通して、通学路や自宅周辺にも、柵などがなく誰でも簡単に入れる場所や人目につかず隠れる場所があることに気付き、「入りやすく」「見えにくい」を視点に地域の防犯マップをつくり全校や地域に知らせたいと意欲を高めることができる。



UNIT 3
気付く（4時間）

タイトル 希望が丘地域の危険な場所を防犯マップにしよう！

ねらい（学習目標）

主な活動：「入りやすく」と「見えにくい」に分けて調査資料を整理

◎調査した危険な場所や状況を記録したメモ、画像をもとに、「入りやすく」と「見えにくい」に整理してマップにする中で、地域の建物や施設、道路のつくりによって危険な場所や特徴が異なることに気付き、犯罪被害に遭わないための工夫について防犯マップにまとめることができる。



UNIT 4
伝える（3時間）

タイトル 希望が丘の「入りやすく」「見えにくい」をみんなに伝えよう！

ねらい（学習目標）

主な活動：全校、保護者、地域の方を招いた防犯マップ発表会

◎作成した防犯マップをもとに、地域の危険な場所や状況を分かりやすく伝えるための工夫について話し合う中で、「入りやすく」「見えにくい」を視点に危険予知と危険回避について伝えることが大切なことに気付き、地域に潜む危険場所と回避方法が伝わるように発表することができる。



児童の姿（成果）

単元の導入で防犯アニメを視聴させたことで、「入りやすく」「見えやすい」という分かりやすい視点から防犯への理解と興味・関心を高めることができた。地域セーフティーパトロールの皆様から通学路や自宅周辺の調査に協力をいただいたことで、複数の地域の調査を安全に行うことができた。普段、交通安全を中心に子どもたちを見守ってくださる地域セーフティーパトロールの皆様にも防犯教育への関心を高めてもらうきっかけとなった。防犯マップ発表会に、全校児童、保護者、地域の方を招いたことで、身近な地域に潜む危険な場所や状況とその回避について多くの方に興味をもってもらうことができた。